

ガンコ親父の

松次郎は淋しかった。若い頃から生き方に大きな影響を与えてくれた「健さん」が亡くなったからだ。妻の貴代もファンだったので、元気をなくしていた松次郎の気持ちはよく分かった。しかし、松次郎の喪失感にはハンパじゃなく、最初は「私にとつての『男の中の男』は健さん以外にも、ここにいるから」と冗談も言えたが、最近は声をかけるのも気がひける雰囲気である。

「クリスマスだっというのに、なんか暗いよな。まあ、怒鳴り声で聞こえないだけいいけど…学は苦笑いをした。貴代は以前、二人で「幸福の黄色いハンカチ」を観た時、松次郎が鬼の形相で号泣していたのを憶えていた。「幸せの黄色いクリスマス」ってのはどう？ ショック療法できっと元気になると思うよ」と、学に自分のアイデアを切り出した。

奄美黒糖焼酎

クリスマスイブの夜、貴代に誘われた長男の士郎の家族も集い、松次郎の帰宅をみんな待った。玄関先の樹の枝には松次郎の似顔絵が描いてある黄色い布が何枚もぶら下がっている。心配なのは日没が早いこの時期だから、暗くなるとそれが見えなくなることだ。その心配ごとは見事に的中し、松次郎の帰宅は遅くなってしまった。

松次郎が居間に顔を出したとたん、「お帰りなさい」の声とともに頭の上でくす玉が割れ、黄色の紙吹雪と紙テープがクラッカーの音とともに舞った。松次郎は驚いたが、すぐに固い表情に返ってしまった。

その素っ気なさを見て、今日のアイデアは失敗だったかもしれないと、貴代の不安は広がった。暗くなってからの帰宅だから、外の黄色い布も見えなかったらどうし、2組の息子たち夫婦もかける言葉も失っている。

すると意外にも、士郎の息子がすっと立ち上がり、原稿用紙を読み始めた。

「大好きなおじいちゃんへ。おじいちゃんへ入学祝いに、約束を守る子になれるようにと…僕に黄色のハンカチをくれましたね。そのとき、人間は約束を守れなくてはいけないし、特に困った人を助けることが一番だと教えてくれました。『男として約束できるか？』とおじいちゃんが聞いたので、僕はハイと答えました。そして、このハンカチを見たら約束を思いだせるよと言いました。おばあちゃんから、最近おじいちゃんが元気がないと聞きました。

僕の出番だと思いました。おじいちゃんとの男の約束を思いだしたからです。だから、黄色の布に…っぽい似顔絵を描きました。絵のよつな顔になれるよう元気を出して下さい」

松次郎は貴代から懐中電灯を手渡され、樹の枝に掛かっている似顔絵を見るよう促された。

懐中電灯に照らし出された孫の絵は、冗談でも上手いとは言えない代物だったが、逆にその懸命な下手さ加減が松次郎の涙腺を直撃した。

玄関先に出て行った松次郎がなかなか戻って来ない。「冬だから涙が乾きにくいんだろ」と次男の学が言った。「クリスマスだけ、これだったら『しまっちゅ伝蔵』ですね、今夜も」と貴代は微笑んだ。そしてそっと胸をなで下ろした。これでやっと普通の正月を迎えられるかもしれない。

25度
好評発売中



喜界島酒造株式会社
鹿児島県大島郡喜界町赤連296番地12
TEL 0997(65)0251

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造はこの活動を応援しています。



the most beautiful villages in japan
喜界町
鹿児島県

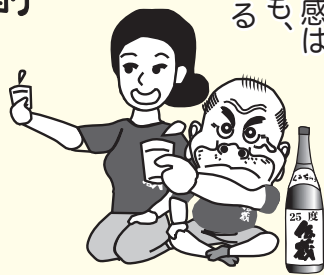


900ml (25度) 1800ml (25度) 1800ml (25度)

昔ながらの手造り こだわり焼酎

喜界島の豊かな大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのkokoroのある味と香りです。

常圧蒸留



2014年春季全国酒類コンクール・黒糖焼酎部門第1位受賞

男の約束に乾杯!

<http://www.kurochu.jp>

お酒は20歳になってから。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児に悪影響を与えるおそれがあります。